広報
さめがわ
昭和53年
10月号
No. 298
編集兼発行
鮫川村総務課
協町佐藤印刷所



自治体消防発足30周年この偉容!!

今年は自治体消防が発足して30周年の記念すべき年に当ります。消防団の前身である警防団から市町村の自治体にその管理が移管されたときは、警察と分離されるため一抹の不安はあったものの、30年の歩みは市町村の自主的な災害防衛機関として立派に成長しました。

鮫川村は団員定数 346名、ポンプ自動車も今年新しく１台購入されて３台となり、塔載自動車５台、可搬式動力ポンプ24台、防火水槽33と施設設備も整備され、知事表彰も幾度か受けました。

写真は10月４日、ラッパ隊を先頭に堂々たる市内行進を行う消防団の偉容です。

- ⊙ １日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ ５日　交通事故相談日（県南行政事務所 TEL 白河(2) １５５０）
- ⊙ 第３日曜日は『家庭の日』
- ⊙ 10月１日～12月31日　共同募金運動

今月の人口

（10月１日現在）

人口	5,786	（＋６）
男	2,907	（　０）
女	2,879	（＋６）
世帯	1,172	（＋１）

村政のあゆみ(42)

新農業構造改善事業への期待

村長　石田卯子八

農業基本法が制定されたのは今から一七年前のことで、基本法農政の手始めとして行われたのが第一次農業構造改善事業でした。

わが村は他に先がけて昭和三七年に指定をうけ昭和三八年度から事業の実施に入り、県内では注目されるいくつかの事業を完成しました。

基幹作目として選んだのが養蚕と肉牛で、青生野の大規模桑園の開発による協業養蚕や、協業和牛組合の放牧による肉牛の繁殖育成事業は、組合員の不屈の努力によって実績をつみ、県内外から多くの見学者もあり、その後国の規模で行われている阿武隈山系開発事業の導火線的役割を果したものといえるようです。

この一次農構は昭和四二年に終ったが、同年第一次林業構造改善事業の指定があり、辺地対策事業も昭和四三年度から始められ、昭和四五年第一次山村振興事業の指定と続きました。

昭和四六年度からは過疎対策事業を併せて実施することになり、昭和五〇年度には広域農業開発の農用地開発公団事業が初まり、第二次山村振興事業の指定、昭和五二年度第二次林業構造改善の指定と複雑極まる産業開発、地域振興の計画が実施されたのであります。

このような事情の下、二次農構の機会はなく、時代は変り農業情勢は目まぐるしく変転しました。

農業基本法の目ざした選択的拡大の方向は決して誤りではなかったが、特定農産物の生産過剰を生み、円高の外圧に押されるなど、価格の低迷、余剰農産物の処理は極めて困難な問題となりました。

高度成長の波は農村社会から若年労働層を奪って老令化させ、職業の多様化は純朴な農村集落まで混住社会化し、農地の荒廃は続き、食糧のバランスある自給力は低下しました。

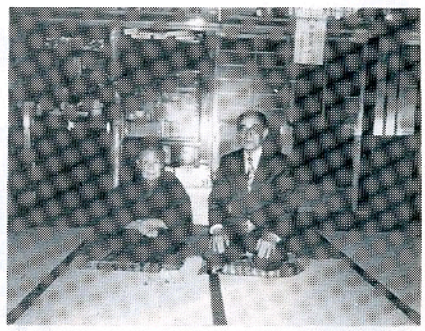
ここに至れば日本の農政が当然に、新しい農業、新しい農村の再建に重大な決意と努力を傾注すべき時点に立至ったことを誰しも考えざるを得ないのであります。

農林省が打出した新農業構造改善事業の背景はここにあるものと理解されるのであります。

わが村としては、この機会にこれまで実施してきた数多くの対策事業の反省と実績の上に立って、これからの新しい方向を見定めながら、おくれることなく、新農業構造改善事業の施策を樹立し、実行に入るべきものと思うのであります。



浅屋敷の鈴木ツル（97才）さん
ますますお元気。



中山の芳賀タツ（98才）さん
新築の住宅でいよいよお達者。



9月15日の敬老会は例年を越える参会者でにぎわいました。

全国共同募金運動
10月1日～12月31日
御協力お願いします。

役場庁舎の夜間警備は警備員が行っています

一〇月一日から夜間の役場庁舎警備は、公募した六名の方と委託契約を結び、二人づつ交替で勤務しております。

警備員の勤務時間は午後五時から翌朝八時三〇分までです。土曜日の午後、日曜、祝日の日直は従来どおり職員が勤務します。

役場に対する用件はなるべく日中に済まされるようご協力下さい。

警備員

小林直次（真坂）
前田吉之助（新宿）
高木定典（薄ケ久保）
小林春男（伏木田）
鈴木一（道少田）
藤田二三夫（越虫）

おめでた

八月
真坂　湯座　義喜　父湯座好郎

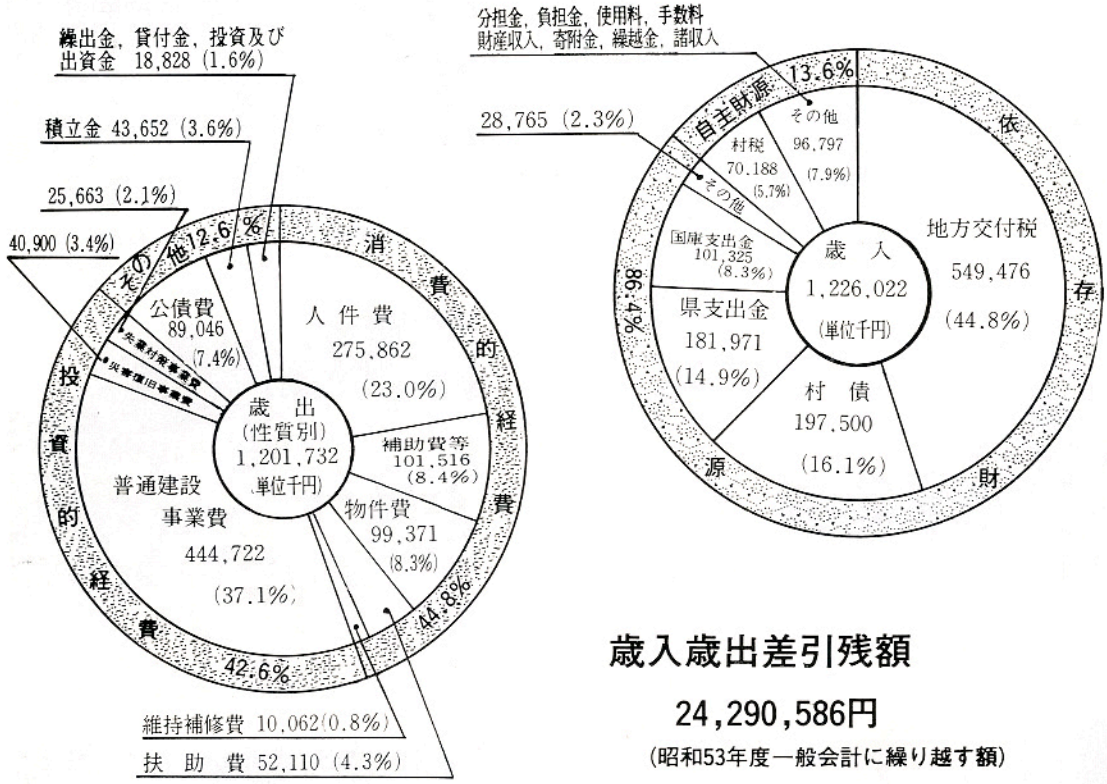
九月
青生野　八代りつ子　父八代　亮
戸倉　関根政市郎　父関根信一

おくやみ

九月　年令　世帯主
落合　我妻　タネ86才我妻正男
戸倉　関根栄次郎53才関根徳次
名下　須藤　金藏75才須藤金一
彦次郎　赤坂　信久73才赤坂秀雄

昭和52年度決算・一般会計12億173万円

昭和52年度鮫川村の一般会計決算は、９月の定例村議会で認定されましたが、そのあらましは次のとおりです。



歳入歳出差引残額

24,290,586円

（昭和53年度一般会計に繰り越す額）

教育委員長に 船木 操氏

教育委員長の任期は一年で、毎年一〇月一日に改選されますが、今回は一〇月一日に教育委員会が開催され、互選の結果船木 操委員が委員長に選ばれました。

委員長 船木 操
委員長職務代理者 前田 弘
委員 高坂 尹
委員 生田目幸治郎（再選）
教育長 湯座 弥重郎

お知らせ

学校施設等使用申請の手続きが変りました!!

教育委員会では地域の体育・文化の振興を図るため特に必要ある場合に限り学校施設（校庭を含む）を開放しています。従来は、利用しようとする責任者が、あらかじめ学校長の承諾を得て教育委員会の許可を受けることになっていました。

このたび利用者の利便を考慮して、地区体育協会傘下団体がバレーやソフト、卓球等の練習をするような場合は、学校長の権限で許可することになりました。

なお異例と認められる場合は従前どおり教育委員会が決定することになります。

夜間使用の場合は原則として午後九時までになっています。その他注意事項は許可証に明記してありますが、火の取扱い、戸締り、施設内での飲酒禁止等特に注意されるようお願い致します。

（学校教育課）

休みの日の在宅当番医

（10月11月分）

月日（曜）	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
10月1日（日）	藤田	厚生病院	木村
8日（日）	勝田	中島	慈泉堂
9日（祭り）	菅原		
10日（祝日）	薄葉	石川	斉藤
15日（日）	大木	厚生病院	菊池
22日（日）	菅原	車田	木村
29日（日）	棚倉町診療所	根本	慈泉堂
11月3日（祝日）	和田	厚生病院	斉藤
5日（日）	阿部	中島	木村
12日（日）	藤田	石川	慈泉堂
19日（日）	勝田	厚生病院	菊池
23日（祝日）	菅原	車田	斉藤
26日（日）	薄葉	根本	木村

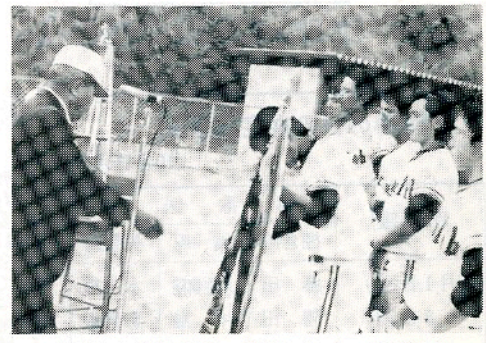
スポーツの秋たけなわ



可愛い保育所のお子さんたちが体育館でのたのしい運動会…あいにくの雨でした。



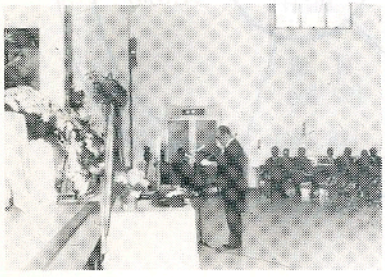
小学校では紅白に別れた児童たちの勇ましい玉入れ競技が観客をよろこばせました。



青年の早起き野球、健康によく、親善によく、よい生活習慣づくりによく、好評。



規律正しく士気旺盛な点でいつも管内一の定評ある鮫川村消防団の秋季検閲が10月4日晴れ上った秋空の下で厳しゅくに行われました。白河行政事務所長代理管内各消防団長、村内名誉職の方々も多数来賓として参列され、講評と激励をおくられました。



今年の戦没者追悼式は9月20日山村開発センターでしめやかに挙行されました。



西山区岩野草部落では全戸18名で役場に石田村長を訪問し、陳情をかね、部落内の道路、ほ場整備、集会所など、環境整備事業の促進方について、担当課長を交えて懇談しました。

ゴミは収集日の朝持ち出しましょう

一〇月と一一月のゴミ収集日は次のとおりです。各家庭のゴミは袋等へ入れ、散乱しないよう収集日の朝持ち出しましょう。

江竜田～彦次郎～広畑～新宿～大塩コース

○燃えるゴミ（毎週月・木曜日）

○燃えないゴミ（隔週月曜日）

一〇月九日、二三日

一一月六日、二〇日

真坂～茅～酒垂～宝木～水口～官沢コース

○燃えないゴミ（隔週水曜日）

一〇月四日、一八日

一一月一日、一五日、二九日

越虫～青生野～戸草～蕨ノ草～官代～遠ケ竜コース

○燃えないゴミ（隔週火曜日）

一〇日三日、一七日、三一日

一一月一四日、二八日

◆ゴミのないきれいな村は、みんなの心がけから

第一回 福島県農業まつり

食糧・農業について広く県民の皆さんの理解を深め、農業者の生産意欲の向上をはかるため、県は〝ふるさとの農業をみんなで考えよう〟というテーマで九月上旬より「第一回福島県農業まつり」を開催しています。

福島市、郡山市、会津若松市、いわき市を会場として食糧・農業事情の解説、農産物の展示コーナー、料理実演、試食、農産物の品評会等の展示行事のほかに、農業者の皆さんの技術相談に応ずるとともに、一般参観者を対象としたコーナーも設けています。

主な行事日程は次のとおりです

	会場	日時	場所
展示行事	福島市	11月3日～5日	福島市市民会館
	郡山市	10月27日～29日	郡山丸光デパート
	会津若松市	11月3日～5日	県営体育館
	いわき市	11月2日～5日	平市民会館

今月の納税　二十五日まで

村県民税　第三期
保険税　第五期
国民年金　第三期

たばこは村内の小売店で買いましょう